



Organize
your family photos

(特集) 写真整理術

スマホやデジカメで気軽に写真を撮るようになった一方で、大量の写真データが溜まりがちになっていませんか？溜めたままにしておく、容量オーバーになってしまったり、故障ですべてのデータが突然無くなってしまったりすることも…

家族の大切な思い出や、記録が消えてしまったら悲しすぎますよね。また、撮りっぱなしのままだと人物、料理や気に入ったものなどカテゴリがバラバラで、本当に大切な写真が埋もれてしまいます。

せっかく撮った写真はきちんと保存して、家族で見返す楽しさを共有したいものです。とはいえ、膨大な量の写真データをどのように整理・保管すれば良いのかわからないという方や、面倒くさそうでなかなか手をつけられないという方も多いため、今回は、そんな写真の整理・保管のアイデアをご紹介します。

撮影 = 堅山 哲 Satoshi Tateyama
文 = 中西 理恵 Rie Nakanishi

aaabbbcc
cdddeeff
fgghhhij
jklmmn
nooppqq
rrssttuu
uuvvwxx
xyyyzz112
34567890



もっと楽しむための 「写真プリント整理法」

写真をHDDやCDに保管していても、データのままでとさっと気軽に見ることはできません。
デジタルの時代でもアナログなプリントが、やはり一番手取りやすく見やすいので、
家族で思い出を振り返る時間を持つことができます。
写真は見返してこそ価値を増すもの。
写真は現像プリントして整理することをおすすめします。

アルバムで保管する。

1 ルールを決めよう。

やみくもにプリントすると、かさばって収納に困ります。また、最初から意気込んで手の込んだものにしよと考えると時間と費用がかかって面倒になってしまいます。「月に1回、アルバム見開き分の8枚」など自分のルールを決めましょう。

2 アルバムを選ぼう。

いろいろなタイプのアルバムが売られていますが、整理しやすいから差し込みだけの「ポケットフォルダータイプ」、アルバムは手取りやすい場所に置いておきたいので、インデシアの邪魔にならないようスッキリとしたシンプルなものをおすすめです。また、増えとも同じもので揃えられるよう安価で定番の商品を。自由にレイアウトできるアルバムにしたい場合は、フリー台紙タイプを選びましょう。

3 メモをつけておこう。

ちょっとしたコメントやその時の出来事、チケットや子供の落書きなども一緒に保管しておけば、後から見返したときの貴重な記録になります。

4 少し手を加えるなら、シールや折り紙で飾っても。

文具店で手に入るアルバム用のデコシールや100均のシールなどをファイルやフィルムの上から貼ったり、マスキングテープで飾ったりと、簡単なデコレーションを施すことで、楽しい気分を演出できます。



フォトブックで保管する。

フォトブックとは、個人向けに提供されている写真集制作サービスのことを言います。写真のプリントと違い、オンライン上で編集しながら注文するので、届いてから整理する必要がありません。結婚式や出産、旅行など大きなイベント時に制作したことがあるという方もいらっしゃると思いますが、何気ない日常もフォトブックにまとめることで、記録として残すことができます。サイズや紙質、製本方法、カバーの有無などによって、仕上がりイメージも大きく変わるので、好みのものを選びましょう。

フォトブックの作り方のコツ

1 1冊につき1テーマに絞ろう。

例えば、「旅行」や「子供の1年の成長」など一つのテーマに絞ると、写真の選定もしやすく、まとまりのある1冊になります。

2 レイアウトのコツ。

時系列で並べるか、カテゴリごとに並べるか順番を決めましょう。例えば旅行だったら、観光スポット、フード、ショッピングに分けて並べると、ガイドブックのように作れておもしろいです。

3 写真の配置を考えよう。

記録のための1冊なら、レイアウトのパターンを一定に統一すると定点観測のように変化を分かりやすく伝えることができます。(例/1年間のお弁当など) イベントや旅行記なら、お気に入りの写真は大きく使ったり、載せておきたいけど少し小さくしている写真などは数枚まとめて小さく入れたり、強調をつけてレイアウトすることを心がけましょう。不規則な並べ方や、重ねる、斜めに配置するなどは少々テクニックが必要ですので、まずは「揃える」ことを意識すると美しく仕上がります。テンプレートも準備されているので、初めての方でも写真を読み込むだけで作ることができます。

4 デコりすぎずシンプルに。

余白があることで写真は、より引き立ちます。コメントの文字は小さめにして余白を取り、シンプルに配置した方が見栄えが良くなります。あえて文字数多めのエッセー本風にするなども面白い工夫ですが、場合も余白を十分取ることで、うまくまとまります。



写真整理の前にやっておこう! 「写真の正しい保管法」

写真がフィルムからデジタルへと変わり、私たちは気軽にたくさんの写真を撮ることができるようになりました。
しかしそのデジタルデータは、一瞬で消えてしまうことがあるという恐ろしいリスクも負っています。
スマホやデジカメのデータを保存するにはいくつかの方法がありますが、1つだけで完璧な保存方法はありません。
大切なことは「複数バックアップを取っておく」こと。
いつPCが壊れてもスマホを水没させても慌てないために、日頃からバックアップを心がけましょう。

バックアップの心得

- 常に2重(またはそれ以上)で保存しよう。
- 復元させやすい方法を選ぼう。
- 自分が楽な方法を選ぼう。



ハードディスクに保存する。

日々の更新保存におすすめ!

大量の写真データを、高画質のまま保存しておく「外付けハードディスク」。CD-RやDVDは容量が足りない何枚もディスクに焼く作業が必要になり面倒ですが、外付けHDDなら1台でもかなりの量を記録しておくことが可能です。転送スピードが早いものを選びましょう。

【デメリット】 PCを持ってないと使えないこと、大体の寿命が3~5年とされているので長期保存にはあまり向いていません。2台以上に保管したり、CD-RやDVD-Rを併用するなどが必須です。



光記録メディア(CD-R・DVD-R)に保存する。

中長期保存・配布におすすめ!

おすすめの使い方は、PCから外付けHDDにコピーする際、ざっくり日時やイベントごとなどカテゴリを分け、DVD-Rなどにもバックアップを取る方法。直射日光や高温・多湿の場所を避けて保管しましょう。保管状態が良ければ10~20年は保存しておけます。格安品は避ける方が無難です。

【デメリット】 HDDに比べると容量が少ないこと。しかし、カテゴリごとに分類して保存しておけば、データを探しやすいというメリットになります。収納の場所を取る、最近のパソコンには光学ドライブが内蔵されていないなどのデメリットがあります。



USBメモリーに保存する。

短期保存におすすめ!

スマホに直接接続できるUSBメモリーにデータを保存する方法です。持ち運びしやすく、データのやりとりも容易です。PCがなくてもデータを移行できるのが便利です。

【デメリット】 持ち歩き頻度が高く、小さいため紛失しやすい。USBメモリーにも寿命があるため、長期保存には不安があります。



クラウド上に保存する。

共有におすすめ!

ここ数年の間、無料~低料金で使えるサービスも増え、一般化してきたクラウドストレージ(オンラインストレージ)。インターネット経由でデータ保存するため、機器をつなぐ手間が省け、自分で現物を管理・保管する必要がなく、自分以外の人と共有もしやすいのがメリットです。

- iCloud/MacやiPad、iPhoneユーザー向け/無料(5GB)~1,300円(2TB)
- Googleフォト/無料(15GB)~39,000円(30TB)
- Amazonプライムフォト/Amazonプライム会員なら無料容量無制限

クラウドストレージの最大のメリットは、自動でバックアップされること。自動で画像を分類してくれたり、スライドショー動画を作成してくれるなどの機能も満載です。

【デメリット】 アップロードやダウンロードに通信が必要になるので、Wi-Fi環境は必須です。また、不正アクセスによってデータの盗難や消失、個人アカウント乗っ取りなどのリスクや、利用サービスが終了してしまう可能性などが挙げられます。





アルバムはいつでも家族の目に触れる、手に取れる場所に。

アルバムを作ったら、いつでも見返せるような場所に収納しましょう。風水で「時」のアイテムであるアルバムは、しまし込まない方が運気を上げるそうです。インテリアの一部として馴染むようにシンプルな見た目のアルバムに統一しましょう。手に取りやすくしておくことで、アルバムへの写真整理も空いた時間とちょっとずつ進められますね。



家族の写真を日常の風景に。

インテリアに家族写真を飾ってみませんか？ディスプレイを意識して写真プリントをしてみると、お気に入りの写真がぐっとおしゃれなインテリアに。フレームにこだわってみたり、パネル状にプリントできるサービスを利用してみたい。せっかく撮った写真は、しまし込んでしまわずに、どんどんプリントして楽しませよう。

たくさんのメーカーから写真プリント&フォトブックサービスが提供されています。その一部をご紹介します。

(※特定の企業のサービスを推奨するものではありません。ここに取り上げたサービス以外にも多数ありますので、よく比較して自分の目的に合うものを選択しましょう。)

ネット系

Internet

◎しままプリント

鹿児島県日置市にある「しままプリント」。手頃な価格なので、スマホで撮った普段の写真も気軽にプリントしたり、フォトブックをたくさん作って友達や親戚に配ったりしたいときに便利です。フォトブックは、文庫本サイズからA4サイズまで選べて、24〜144ページまで作成可能です。

●Lサイズ写真プリント/1枚 6円(税別)〜 ●文庫サイズフォトブック/1冊 198円(税別)〜

◎Photoback

なぜか何となくオシャレに仕上がる「Photoback」。その理由は、一般的に写真で使われる光沢紙ではなく、質感にこだわったマット系の用紙だから。見開きが平らになるので立てて飾れる合紙製本と、より「本」らしさが演出できるくみ製本の2種類が選べます。小型本サイズからB5サイズまであり、16ページから120ページまで作成可能です。

●POCKETサイズフォトブック/1冊 1,000円(税別)〜

◎MYBOOK

画質で選ぶなら「MYBOOK」。写真集のようなクオリティで、長期保存に嬉しいプラスチックケース付き。ブックサイズ、製本の仕様なども豊富で、好きなパターンを選べます。

●76x76mm/1冊 900円(税別)〜

アプリ系

App

◎ALBUS

毎月8枚まで高画質の「ましかく」スクエア写真が無料で作れるサービス「ALBUS」。(別途送料税別220円)注文時期を毎月アプリが教えてくれ、マンスリーカードも付くので、届いた写真を専用アルバムに入れていくだけで、いつの間にか可愛いアルバムが完成しています。

●8枚まで無料/9枚目以降1枚 20円(税別) (過去の写真も1枚 20円)

◎レター

写真プリントやフォトブックなどは少し異なりますが、毎月1枚だけリビングに飾る写真が欲しいとか、遠方に住む両親に子供の成長記録を送りたいというときに使えるサービスが「レター」です。毎月とっておきの1枚でカレンダーを作って、指定した住所宛に送ることができます。宛名面にメッセージも書けるので、成長記録としても使えます。

●1通につき/250円(税別・送料込) ●ディズニーデザインの場合 300円(税別・送料込)

◎nohana

毎月1冊無料でフォトブックが作れてしまう「nohana」。(別途送料税別275円)アプリで写真をアップロードするだけの手軽さで、コメントも入れられるので、毎月の記録として残すためには便利なサービスです。2冊目以降有料、有料オプション高画質仕上げもあります。

老舗店舗系

Shop

◎富士フイルム

写真の仕上がりに品質にこだわりたいなら、写真仕上げの「富士フイルム」で。写真用の印画紙を使用しているので、インク材の劣化もなく綺麗な色のまま長持ち。写真プリント以外にもパネル加工などいろいろな商品があります。さらに、スマホの中にあるたくさんの写真の中からアプリが自動で良い写真をセレクトして1年間の家族の思い出を1冊にまとめてくれる「Year Album」というサービスもスタート。

●スマホ・デジカメプリント/1枚 40円〜(税込) ●150x150mmサイズフォトブック/1,913円〜

◎カメラのキタムラ

店頭注文なら最短10分で仕上がる写真プリントは専門店ならではの。ネット注文・宅配受け取りも選べます。たくさんの写真をまとめて1枚にプリントするシャッフルプリントや、フレーム付きのプリントなどのサービスも。フォトブックは、写真仕上げタイプと印刷仕上げタイプの2種。A5〜A4サイズ、22ページ〜最大42ページまで。

●写真プリント/1枚 29円〜(税別) ●フォトブック/1冊 2,000円〜(税別)



本誌カメラマンより

我が家では、お正月休みに家族みんなで写真を選び、「ASUKABOOK」で年に1冊フォトブックを作っています。少しお値段は高めですが、写真・製本の質が良いので気に入っています。フォトブックでの写真整理は、家族が集まって今年のベストショットを選ぶ時間も、出来上がりを見るのも楽しいのでおすすめです。



生徒さん(M.Kさん)より

以前山梨に住んでいた頃、友人の作品を見て一目惚れたのがスクラップブッキングとの出会いでした。その後鹿児島に転勤になって、教室を探し黒木先生に教わることとなりました。スクラップブッキングの面白さは、お気に入りの写真をいろいろな素材と組み合わせて作品に仕上げていることにあると思います。主に12インチタイプの作品を作り、季節やイベントに合わせて部屋に飾っています。写真はプリントすることで、目に触れる機会も多くなると思います。スクラップブッキングで、写真が特別な作品となり、見返す楽しさも増します。子供に将来まとめてプレゼントするのが楽しみです。



スクラップブッキングを部屋に飾ろう!

作品が出来上がったら、家族がいつでも観賞できる場所に飾りましょう。

インテリアディスプレイとして楽しめるだけでなく、家族の写真を家に飾ることは親子のコミュニケーションを生みます。

親が子供のことを大切に思っているという気持ちを、写真という見える形で伝えられるため、

子供の自己肯定感を高めることができるそうです。家族が幸せを感じる写真を、部屋いっぱい飾りましょう。



リビングやダイニングの棚の上など、子供が日常的によく過ごす場所に飾るのがベスト。あまり高すぎる位置だと子供の目線に合わないので注意が必要です。定期的に写真を入れ替えて更新すると、会話が生まれるきっかけにもなります。



ガーランドやタペストリーのように壁から吊るすアイデアもおすすめ。マスキングテープなら、壁紙を傷つけることなく、張り替えも楽。

プリント写真をインテリアに変える! 「スクラップブッキング」

スクラップブッキングってご存知ですか?

スクラップブッキングとは、カラフルなペーパーや可愛いパーツで写真をデコレーションするクラフトホビーです。

思い出やその時の感想を書いた文字(ジャーナルと呼ばれます)を書き添えることで、

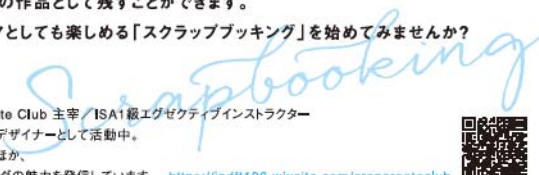
家族の歴史をひとつの作品として残すことができます。

季節に合わせて作ることで、インテリアとしても楽しめる「スクラップブッキング」を始めませんか?



〈教えてくれた人〉黒木 亜希子さん

国際スクラップブッキング協会認定校 Crop Create Club 主宰/ISA1級エグゼクティブインストラクター
鹿児島にてスクラップブッキングインストラクター&デザイナーとして活動中。
定期教室(吉野・皇徳寺・霧島・川内)での講座のほか、出張講習やワークショップなどでスクラップブッキングの魅力を発信しています。 <https://jpdf1109.wikisite.com/cropcreateclub>



●デコレーション材料

パターンペーパーと呼ばれる柄の紙やステッカー、レースペーパーなどを使ってデコレーションします。長期保存を目的としているため、写真や作品の色あせや劣化の原因にならないよう、紙の黄ばみのもとになる「酸」を含まないアシッドフリーの素材を選ぶようにしましょう。



●必要な道具

スクラップブッキングに必要な基本ツールは、ハサミ、定規、接着剤、糊、筆記具、デザインナイフ(カッター)、カッターマットです。さらにペーパーリマー(定規付きライナー/紙を一度でまっすぐにカットできる道具。)があると便利です。作品づくりをする中で、必要な道具が分かってくるので、少しずつ揃えていくといいでしょう。



早速作ってみましょう!

- どんな作品にするかテーマを決め、使いたい写真に合わせて台紙を選びます。「季節やイベントなどのテーマに合わせてベースの色や柄を選びましょう」
- 糊は付けずに、写真の配置と使いたい飾りを、バランスをみながら組み合わせていきます。「人物写真を使う際は、目線の向きに揃いますとバランスを取りやすいです。人物の洋服と、飾りの柄や色味も合わせましょう」
- 大体の配置が決まりました。
- 後で見た時にその時の気持ちを思い出せるように、日付や状況がわかるコメントを添えるといいですよ。
- 接着していきます。紙や写真の接着にはテープのりが便利です。立体パーツは紙用ボンドで接着します。「水のりは、水分が多く紙が波打ってしまうため、使わない方がいいです」



黒木先生より

スクラップブッキングの魅力は何といっても、手作りの温もりが感じられて、作ったものを部屋に飾れること。可愛く飾ってもらえることで、子供もとても喜びます。スクラップブッキングに使う写真は、プロが撮ったものよりもスナップ写真を使う方が、何気ない日常の自然な表情や雰囲気が出て良いと思います。また、いつどこで撮ったものかが分かるように背景も入れて作りましょう。写真を撮る時に、タテ・ヨコ、アップ、引目などいろいろなパターンで撮っておくと良いですよ。思い出の写真を作品として綺麗に残せるスクラップブッキング。たくさん作って楽しんでください。

- バランスを見ながら、小さなパーツを追加して出来上がり。「シーズンごとに入れ替えをするとインテリアとしても良いですし、家族が気づいてコミュニケーションが生まれるのでおすすめです」
- 作品が出来上がったら、飾って楽しめましょう。飾り終わって保存する際は、透明ファイルケースに入れて収納します。